

「学生のおもしろ企画・大学祭企画」実施報告書

※整理番号：

企画名
大崎上島まちおこしリノベーションプロジェクト（完成お披露目会の開催）
実施日
令和 6 年 11 月 24 日（日）～ 令和 7 年 3 月 31 日（月）
実施場所
広島県大崎上島町 旧警察官舎
企画代表者の氏名、所属
氏名：佐藤秀弥 所属：工学部第四類（建設・環境系）
構成員の氏名
焦子鈺, 榎優志, 中野瑞希, 十河臣吾, 茶川祐弥 西岡航生, 山田紘平, 李雨烟, 佐藤更彩, 竹熊樹 濱野喜史, 秋山友希, 王茜蕾, 東山公美, 藤田一樹 濱崎礼菜, 綱島雄真, 西村紀彦, 田守希花, 黒木爽 花原巧都, 土居秋穂, 佐藤秀弥, 佐藤峰里, 小林敬弘, 田中日菜, 友定真由, 李皓
指導的立場の教員氏名
角倉英明 准教授(大学院先進理工系科学研究科 建築学プログラム)
企画の目的及び内容
○企画の目的 本企画は、現在使われなくなってしまった大崎上島町の旧警察官舎におけるリノベーションプロジェクトであり、建物の改修から使い方の提案までを、学生が主体となっていくことを目的としている。今年度をもって主要な改修作業は終了する。 そこで、完成お披露目会の開催によって、地域住民と広島大学の学生の交流を深めることでプロジェクトを浸透させ、島の発展につなげていきたい。 ○企画の内容 本企画では、より多くの方に改修後の旧警察官舎を活用してもらうことを目的とし、具体的に次の内容に取り組む。 ①プロジェクトの成果発表 ②旧警察官舎の今後の活用方法についての説明 ③地域住民を交えた箸作成のワークショップ ④改修後の旧警察官舎の模型披露
来場者数
地域住民など、約 30 名
主催・後援団体（外部のコンテスト等に参加する場合は、そのコンテストの規模）
本企画は、大崎上島町と、建築学プログラム 都市・建築計画学研究室(角倉・石垣ゼミ)による共同プロジェクトである。
活動の内容（準備、広報活動、当日の様子等）

当初は完成お披露目を 11/17 に行う予定だったが、工期や気候などの大崎上島町との調整を含めた事情から、2 回に分けて開催することになった。1 回目は 11/24 に町の皆さんへの見学会を兼ねた感謝祭として開催した。2 回目は町と共催する形で正式な完成お披露目を 3 月に開催する予定だったが、再度プロジェクトチーム内や大崎上島町との協議を経て、2025 年度の 10 月に行う予定になった。

① プロジェクトの成果発表

旧警察官舎の位置する地域では造船が盛んである。完成した船が海へ入水する進水式の際には餅まきが行われ、多くの近隣住民が参加している。より多くの方に来てもらえるように、プロジェクトの成果発表の前に餅まきを行った。その周知も SNS とポスターの両方で行うことにより、子連れの家族も含めた約 30 名の地域住民が訪れた。

その後、リノベーションを行った旧警察官舎の内覧会を行った。多くの方から「すごく立派になったね。」と驚きの声をいただいた。また、教育に携わる方や島で飲食店を営む方から一緒に何かしたい、ここで飲食を提供したいと提案をいただいた。

最後に、本プロジェクトをまとめた 15 分の動画を流した。動画には、工事記録のほか、協力してくださった地域住民からの本プロジェクトへの期待の言葉も含まれている。皆さんの温かい拍手で幕を閉じた。これらの成果発表に必要な備品を購入した。



② 旧警察官舎の今後の活用方法についての説明(準備)

今後の活用方法は、2025 年度に地域住民を対象としたワークショップを開催することで詳細を決定する。旧警察官舎の活用方法を地域住民にも考えてもらうことで、旧警察官舎を身近な居場所として認識してもらい、今後の賑わい創出を促す。その内容を 2025 年度 10 月の正式な完成お披露目会で説明する。

③ 地域住民を交えた箸作成のワークショップ(準備)

2025 年度の 5 月 3 日～6 日に大崎上島町で開催されるアートイベントに出展する形で開催する。当イベントは大崎上島町各地に会場が点在し、会場ごとにアート展示やワークショップが企画されるものである。旧警察官舎もその会場の一つとして、箸作成のワークショップを行う。大崎上島町で開催されるイベントに出店した方が、より多くの方に周知できると考えたため、この形で開催することにした。現時点では、必要な箸の材料となる棒状の木材とオイルなどを購入した。

④ 改修後の旧警察官舎の模型披露(準備)

2025 年度 10 月の正式な完成お披露目会にて、廃材（元々、旧警察官舎の床などに使用されていたが、改修する際に解体した木材）を用いた改修後の旧警察官舎の模型を展示する。作成のために必要な模型材料を購入した。

(裏面に続く)

「学生のおもしろ企画・大学祭企画」 実施報告書 (裏面)

アンケートの結果（来場者にアンケートを実施した場合のみ）

成果・課題

<成果>

本企画を実施する前は、本プロジェクトが島内全域に浸透していないことが課題として挙げられていた。しかし、本企画を実施したことで、今まで興味はあったけれど来ることが出来なかった方や知らなかったけど知人の紹介で訪れた方、高齢者から子供と幅広い層の方が旧警察官舎を訪れた。そして、本プロジェクトによって、旧警察官舎で様々な活動を生み、島の発展につなげたいという理念を共有し、多くの方に本プロジェクトを浸透させることが出来た。

また、旧警察官舎で私たちと一緒に活動したいという島内の方と繋がることもできた。

<課題>

旧警察官舎の具体的な利用方法を確定させることが出来なかった。アトリエのようにアートなどの創作活動、音楽活動、ワークショップの開催、勉強会と幅広い用途で用いることは決めているが、具体的な旧警察官舎の利用期間、金額、キャッチコピーなどの宣伝の仕方は決まっていない。2025 年度に地域住民を対象に旧警察官舎の活用方法を考えるワークショップを開催することで、より地域住民のニーズに沿った形で利用する。

実施風景（写真）



【提出方法】 指定された期限までに本紙を作成の上、電子ファイルで提出してください。

E-mail でも受け付けます。

【提出先】 工学系総括支援室 (kou-gaku-gakubu@office.hiroshima-u.ac.jp)